

1

【感謝と喜びを】

F Bb C7 F Gm C7 F
 感謝と 喜びを 今 主の前に 今 主の前に
 Bb C7 F Gm C7 F
 賛美を 心から 今 主の前に ささげよう
 Am Gm C7 Dm Bb C7
 イエスが 流された 血潮で きよめられ
 Am Gm C7 F C7 F
 天に 私の名が 記されている喜び

傷跡

イエス様が 背負っていく
 カルバリの 丘目指して
 イエス様の 肩にかかる
 十字架は 私の 罪の重み

裏切られ 罵られても
 泥沼から 救うために

あなたの十字架 その手の傷跡は
 私のための 愛のしるし
 あなたの十字架 その手の傷跡は
 全てを捨てても 貫いた愛のゆえ

主の愛が今 (おりかえしのみ)

傷ついた主の愛の手が動き
 あなたの上にとどまる
 全能の主の 愛の手がつつみ
 あなたの心を癒される

【主イエスの十字架の血で】 (※おりかえし)

主イエスの十字架の血で
 私は ゆるされ み神と
 和解をして 平安を得ました

※ だから 今すべての悩みを委ねよう
 主は心に平和を満たしてください

主の前にひざまづき

主の前にひざまづき 心から賛美ささげる
 あなたはとこしえにわたしの神

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
 =教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
 =ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシア/イスラエルとパレスチナのため。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災地のため/南海トラフのため

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
 「日本にはリバイバルが始まっています」
 「私も用いられます」
 「すべての問題は解決します」
 「することなすこと、みな成功します」
 「私のまわりには奇跡が起こります」
 「すべてのことを感謝します」
 「イエス様がご一緒ですから」
 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
 牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number: 199 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネによる福音書16章7～15節

7 しかし、わたしはほんとうのことをあなたがたに言うが、わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はこないであろう。もし行けば、それをあなたがたにつかわそう。8 それがきたら、罪と義とさばきとについて、世の人の目を開くであろう。9 罪についてと言ったのは、彼らがわたしを信じないからである。10 義についてと言ったのは、わたしが父のみもとに行き、あなたがたは、もはやわたしを見なくなるからである。11 さばきについてと言ったのは、この世の君がさばかれるからである。

12 わたしには、あなたがたに言うべきことがまだ多くあるが、あなたがたは今にそれに堪えられない。13 けれども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。それは自分から語るのではなく、その聞くところを語り、きたるべき事をあなたがたに知らせるのである。14 御霊はわたしに栄光を得させるであろう。わたしのものを受けて、それをあなたがたに知らせるからである。15 父がお持ちになっているものはみな、わたしのものである。御霊はわたしのものを受けて、それをあなたがたに知らせるのだと、わたしが言ったのは、そのためである。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

倉知牧師のみことばの解説(コラム)

以前、エペソ人の手紙から「パウロの祈り」を学びました。結論として6章で、私たちが悪魔の策略に対抗できるように「神の武具」で身を固め、「どんな時にも御霊によって祈る」ことが、奨励されています。「御霊によって祈る」とは、異言という意味もありますが、「聖霊様の助けをいただいて」ということです。こんな英語の解説を読んだことがあります。

The Holy Spirit is not “the Doer”, but rather the “Helper.” He will not do it without us, but we engage He will help us with what we need to make it happen.

聖霊様は「実行者」というより「助手」のような存在で、けして私たちに抜きには何もなさいません。ただ、私たちが願うなら、聖霊様は、その願いを叶えるために私たちに必要なものをもって助けてくださいます。

あなたが祈り始め、求め始める時に、聖霊様はスタンバイしてくださって、私たちの祈りを助けようとしてくださいます。聖霊様の声、導き、ささやきを聞きながら祈りたいと思います。

イエス様は、最後の晩餐の席で、弟子たちの足を洗い、パンとぶどうを渡されました。そのあとで大切な「告別説教」をされたことがヨハネ14～16章に書かれています。十字架に架けられる前夜に、何を弟子たちに語られたか…なんと「聖霊様について」繰り返し語っているのです。注意深く、聖霊様のことを学び、御霊によって祈る世界を体験したいと思えます。なぜならイエス様は、その告別メッセージの直後に、立ち上がって、ゲッセマネの園に行つて祈られたのです。これ以上ない激しい霊的戦いの祈りにおいて、聖霊様が助けてくださったに違いありません。